

河童倶楽部

本気なら諦めない!

一般社団法人福島県水泳連盟

会長 壺岐ひろみ

「ガンバレ」酷暑の今シーズン、東北で、岡山で、福井で、屋外プールのスタンドから大きな声援が飛びかいました。

昨年に引き続き、屋外プールでの『国体』我が県の可愛い選手たちは、思い切り飛び込み、力いっぱい泳ぎました。結果は皆さまご存知でしょうが、国体では、幹大くん、光ちゃんが見事入賞! 全国中学では、盲夢くんが表彰台に、良々夢ちゃんも入賞しました。

この1年の練習の成果を、どの選手もしっかり出し切ったと私は信じます。一生懸命、練習を重ねてレースに臨んでも思う結果が出ない時もあります。どんなトップアスリートでもあると聞き及びます。

そんな時はどうするのか? もちろん知っていますよね。まずは「諦めない!」そして復習で課題を見つけ、練習し、予習としてイメージトレーニングなどをしてみる。

私の尊敬する、ある指導者の方に、最近、素敵な『言葉』を頂きました。

『本気で本物になろう』

自分の目指すところへ行きたいなら、本気を出さなければなりません。そして、自分が描く本物の〇〇になるんです。

本物って何だろう? と皆さん思っているかもしれないですね。私も考えてみました。深い意味があるのかな? 私の思う本物とは、ぶれない強い意志を持って自分の目指す道を、努力し、歩き続ける自分になることかなと考えました。

さあ、一緒に

本気で

道を作りましょう!



暑い夏 力いっぱい 泳いだ!

いわさきかんた

岩崎 幹大選手(右)・安達 光選手(左)国体入賞



河童の思いを伝えたい

いわき水泳連盟 日塔真一郎

今年の夏は、例年になく暑い夏であった。

それでも例年と変わることなく、毎日プールサイドで生徒と共にいた。ジリジリと肌を焦がす日差しと真つ青な青空に立ち上がる入道雲。いつからだろう、こんな夏が当たり前の日々になったのは。

水泳と出会ったのは、小学校五年生の夏。郡山市立大槻小学校のプールだった。大成小学校が新設され、まだプールがなかったので夏休みに解放された隣の小学校に遊びに行ったときだった。同級生が小体連の水泳大会に誘われているのを見て、自分も入りたいと言ったのがきっかけだったと思う。あれから四十年以上水泳に関わる事となる。中学時代や高校時代には、現在につながる多くの先輩や後輩に出会った。プールが好きで、泳ぐことが大好きで、目の前の流れる水が加速していく感覚、その先へ手を伸ばし超えたときの感動、仲間と称え合った思いを求めて過こした日々が懐かしい。



「水泳の日」サイン会を担当しました
いわきの仲間と

現在、指導者として選手の前に立つとき、全ての生徒に同じ感動を与えたいと思う。初めて潜れた喜びや初めて泳げた喜び、昨日の自分にちよつとだけ勝った喜びを。時代は常に前に向かって進んでいるが、我々河童達の思いは常に変わらない。魚になるまで泳いでいたい。



リレーエッセイ

河童道

～長い長い道の果てにしあわせの福井がある～

第73回国体総合成績

天皇杯(男女総合) 38位 14点
皇后杯(女子総合) 36位 11点

入賞おめでとう!

		★ベスト	
少年A	男子	岩崎 幹大(高2)	
6位	400m個人メドレー	4:28.07	(予選7位 4:27.87)
少年B	女子	安達 光(高1)	
8位	100m背泳ぎ	1:05.83	(予選6位 1:04.65★)

福島から新潟を抜け(これがけっこう長い)、富山、石川を通り次が福井です。『福井しあわせ国体2018』が福井県敦賀市総合運動公園プールで開催されました。予報は雨、気温も低い(水温下がるか?)と心配しましたが、それほど悪天候にはならず日差しが暑いくらいの日もありました。

結果としては
少年男子A 400m個人メドレー 岩崎 幹大 6位
少年女子B 100m背泳ぎ 安達 光 8位
2名の入賞でした。

全国という場で何回か経験を重ねてきた2名は、泳力やテクニックはもちろんですが精神面での成長があるのかなと感じました。決勝をねらう

男子競泳予選

		★ベスト	
成年	服部 翼(大3)	51.80	
26位	100m自由形		
	寺田 拓未(大3)	53.65	
13位	100mバタフライ		
少年A	五十嵐 蓮(高2)	24.33★	
23位	50m自由形		
	但野 智哉(高2)	2:09.14	
20位	200m背泳ぎ		
	岩崎 幹大(高2)	53.00	
22位	100m自由形		
	岩崎・蛭田・但野・吉田	7:42.12	
14位	800mフリーリレー	1泳・岩崎 1:53.49★	
	但野・五十嵐・安齋・岩崎	3:53.07	
14位	400mメドレーリレー		
少年B	野矢 育夢(中3)	24.76	
12位	50m自由形		
21位	100m自由形	54.18	
	杉山 尚輝(中3)	57.80	
19位	100mバタフライ		

ためのその1本に、そして決勝のレースでどれだけ集中しベストパフォーマンスが発揮できるか?となると最後は自己の精神力なのではないでしょうか。その裏には当然断続の練習もものをいっているのですけれど。

いつも練習をしている学校やクラブではない場所、状況指導者、そして選手を取り巻く環境にどう対応できるかは重要です。「自分に合わせてもらう」「やってみよう」「整え、準備してもらおう」・・から『相手に合わせる』『状況に対応する』『環境になれる』『自分から動く』に。自分の目標は確固たるものでいいけれど、そこへ向かうための臨機応変さ、柔軟に順応していくことではないでしょうか。



女子競泳予選

成年	国分 香奈(大2)	27.36	
25位	50m自由形		
20位	100m自由形	58.43	
少年A	伊藤 理智(高3)	59.78	
28位	100m自由形		
少年B	和知 良々夢(中3)	59.16	
15位	100m自由形		
	菅家 綾美(高1)	1:14.20	
16位	100m平泳ぎ		
	秋山 栞名(中3)	1:03.64	
18位	100mバタフライ		
	和知・安達・秋山・菅家	4:05.49	
19位	400mフリーリレー		
	安達・菅家・秋山・和知	4:20.81	
9位	400mメドレーリレー		

国体終了後、すでに来期を見つめてチーム作りや練習に関して討議し合うコーチ陣の姿があります。先の未来を一つ、今を考えていく大変さをいつもいっつも感じて、その姿に頭が下がります。選手の頑張り、そのうしろにたくさんの方々の協力、支援、応援があつてチームは成り立つものです。私たちはできることずつと『ふくしま』を応援していきます。



飛込

西川 友章
14位 成年男子飛板飛込 268.30